



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日

上場会社名 日東富士製粉株式会社

上場取引所 東

コード番号 2003 URL <https://www.nittofuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下嶋 正雄

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 坂田 喜章

TEL 03-3553-8781

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	41,228	13.5	3,214	48.4	3,458	43.2	2,680	45.5
2018年3月期第3四半期	36,326	△1.2	2,166	9.7	2,415	8.9	1,841	21.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,585百万円 (△4.8%) 2018年3月期第3四半期 2,716百万円 (51.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	585.34	—
2018年3月期第3四半期	402.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	47,138	34,058	72.0
2018年3月期	47,358	32,470	68.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 33,948百万円 2018年3月期 32,361百万円

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	124.00	154.00
2019年3月期	—	90.00	—		
2019年3月期(予想)				100.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	11.0	3,500	20.7	3,800	19.8	3,000	28.4	655.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Nitto Fuji International (Thailand)Co.,Ltd. 、 除外 1 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	4,692,364 株	2018年3月期	4,692,364 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	113,388 株	2018年3月期	112,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	4,579,177 株	2018年3月期3Q	4,579,560 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Next Future 2020」を策定し、「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、3つの事業戦略である「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、計画の達成に向け取り組んでおります。特に(株)増田製粉所は昨年2月に当社の完全子会社となり、両社の経営資源を最大限に活用しシナジーの最大化に努めてきました。また、昨年11月にはタイにミックス粉の製造・販売を行う当社100%子会社として、Nitto Fuji International (Thailand) Co., Ltd. を設立しました。

当社グループの第3四半期の業績につきましては、製粉及び食品事業の連結効果の影響により、売上高は412億2千8百万円（前年同期比13.5%増）となりました。利益面では、外食事業における人件費や改装費等の経費増はありましたが、製粉及び食品事業における原価低減・効率化など収益改善策や(株)増田製粉所の子会社株式会社（カネス製麺株）の売却益が寄与した結果、経常利益34億5千8百万円（前年同期比43.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益26億8千万円（前年同期比45.5%増）となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	36,326	41,228	4,902	13.5%
営業利益	2,166	3,214	1,048	48.4%
経常利益	2,415	3,458	1,043	43.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,841	2,680	838	45.5%

〔セグメント別営業概況〕

①製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	31,382	36,215	4,833	15.4%
営業利益	1,961	2,962	1,001	51.0%

「製粉及び食品事業」につきましては、昨年4月と10月に外国産小麦の政府売渡価格がそれぞれ平均3.5%、2.2%引き上げられたこととともない、当社においても小麦粉製品の価格改定を行いました。また、(株)増田製粉所の新規連結に伴う販売数量の増加等により、売上高は前年同期比15.4%増の362億1千5百万円となりました。営業利益は、販売数量が増加したことに加え、全社一丸となり効率化を進め、コスト削減に努めたこと等により、29億6千2百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

②外食事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	4,777	4,902	124	2.6%
営業利益	98	83	△15	△15.8%

「外食事業」の(株)さわやか（当連結対象期間1月～9月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店の売上が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比2.6%増加し49億2百万円となりました。営業利益は、フードコストの上昇や人件費、店舗改装費等の経費が高んだことにより、8千3百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

③運送事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,621	1,567	△54	△3.3%
営業利益	161	143	△18	△11.2%

「運送事業」の日東富士運輸(株)につきましては、売上高は、前年同期比3.3%減少し15億6千7百万円となりました。営業利益は、配送の効率化や経費削減努力を行いました。燃料代の高騰や減価償却費の増加等の負担が大きく、1億4千3百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2018年3月期	2018年12月期	比較
流動資産	23,515	23,121	△393
固定資産	23,842	24,016	173
資産計	47,358	47,138	△220
流動負債	10,798	9,246	△1,551
固定負債	4,089	3,832	△257
負債計	14,887	13,079	△1,808
純資産	32,470	34,058	1,588
負債・純資産計	47,358	47,138	△220

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、遡及処理後の前年度末の数値で比較を行っております。

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千万円減少し、471億3千8百万円になりました。

流動資産は231億2千1百万円で、たな卸資産が増加した一方、現金及び預金と短期貸付金が減少したことにより、前年度末に比べ3億9千3百万円減少しました。固定資産は240億1千6百万円で、有形固定資産その他の増加等により、前年度末に比べ1億7千3百万円増加しました。この結果、資産合計は471億3千8百万円となり、前年度末に比べ2億2千万円減少しました。

流動負債は92億4千6百万円で、主に営業債務や短期借入金等の減少により、前年度末に比べ15億5千1百万円減少しました。固定負債は38億3千2百万円で、長期借入金の減少等により、前年度末に比べ2億5千7百万円減少しました。この結果、負債合計は130億7千9百万円となり、前年度末に比べ18億8百万円減少しました。

純資産は利益剰余金の増加等により、前年度末に比べ15億8千8百万円増加し、340億5千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ3.7%増加して72.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「製粉及び食品事業」につきましては、国内市場は少子高齢化の進行や、人口減少による需要の後退が販売競争を一段と激化させ、更にTPP11および日欧EPAへの対応等、この先も難しい事業運営が予想されます。これらに備え競争力を更に強化する必要があります。

「外食事業」では、業界内での競争激化と消費者の節約志向が続くなか、各店舗に合わせた効果的な事業運営が必要とされています。また、消費者の食の安全・安心に対する意識も一段と高まっており、これに応える店舗運営にも注力してまいります。

当社グループを取り巻く環境は今後更に厳しくなることが予想されますが、「原料調達・製造・販売・開発・物流」が一体となり、徹底した効率の追求と競争力の強化に取り組むとともに、三菱商事グループ各社との連携強化や、(株)増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果をさらに増加させることにより業績拡大に向けて最大限努力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862	892
受取手形及び売掛金	8,946	9,142
商品及び製品	2,167	2,281
原材料及び貯蔵品	6,492	6,986
短期貸付金	3,613	3,410
その他	447	426
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	23,515	23,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,172	4,146
機械装置及び運搬具(純額)	3,106	3,055
土地	4,817	4,837
その他(純額)	517	891
有形固定資産合計	12,614	12,930
無形固定資産		
その他	727	704
無形固定資産合計	727	704
投資その他の資産		
投資有価証券	7,578	7,558
退職給付に係る資産	1,935	1,842
その他	1,050	1,044
貸倒引当金	△63	△62
投資その他の資産合計	10,500	10,382
固定資産合計	23,842	24,016
資産合計	47,358	47,138

